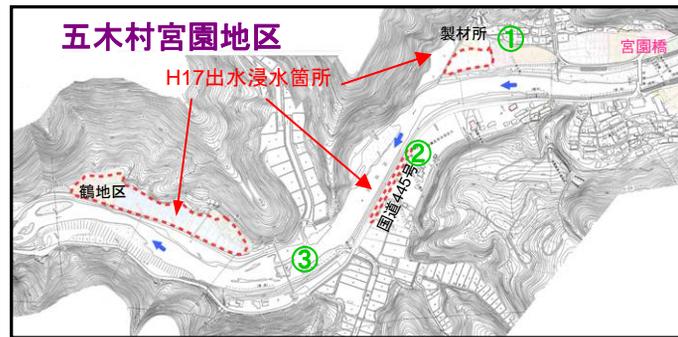


# Q7: 台風14号で砂防ダムの効果はあったのですか？

A7: 平成17年9月の台風14号では川辺川上流で多くの山腹崩壊が発生しました。その土砂の多くについては川へ流れ込んでいますが、朴木砂防えん堤、縦木砂防えん堤において、一度に約19万m<sup>3</sup>の土砂を捕捉しています。  
仮に両砂防えん堤が無いと仮定すると、下流の五木村宮園地区の浸水被害等は更に拡大した可能性が高いものと考えられます。

## ◎平成17年台風14号出水での宮園地区の被害状況



浸水により  
木材が散乱

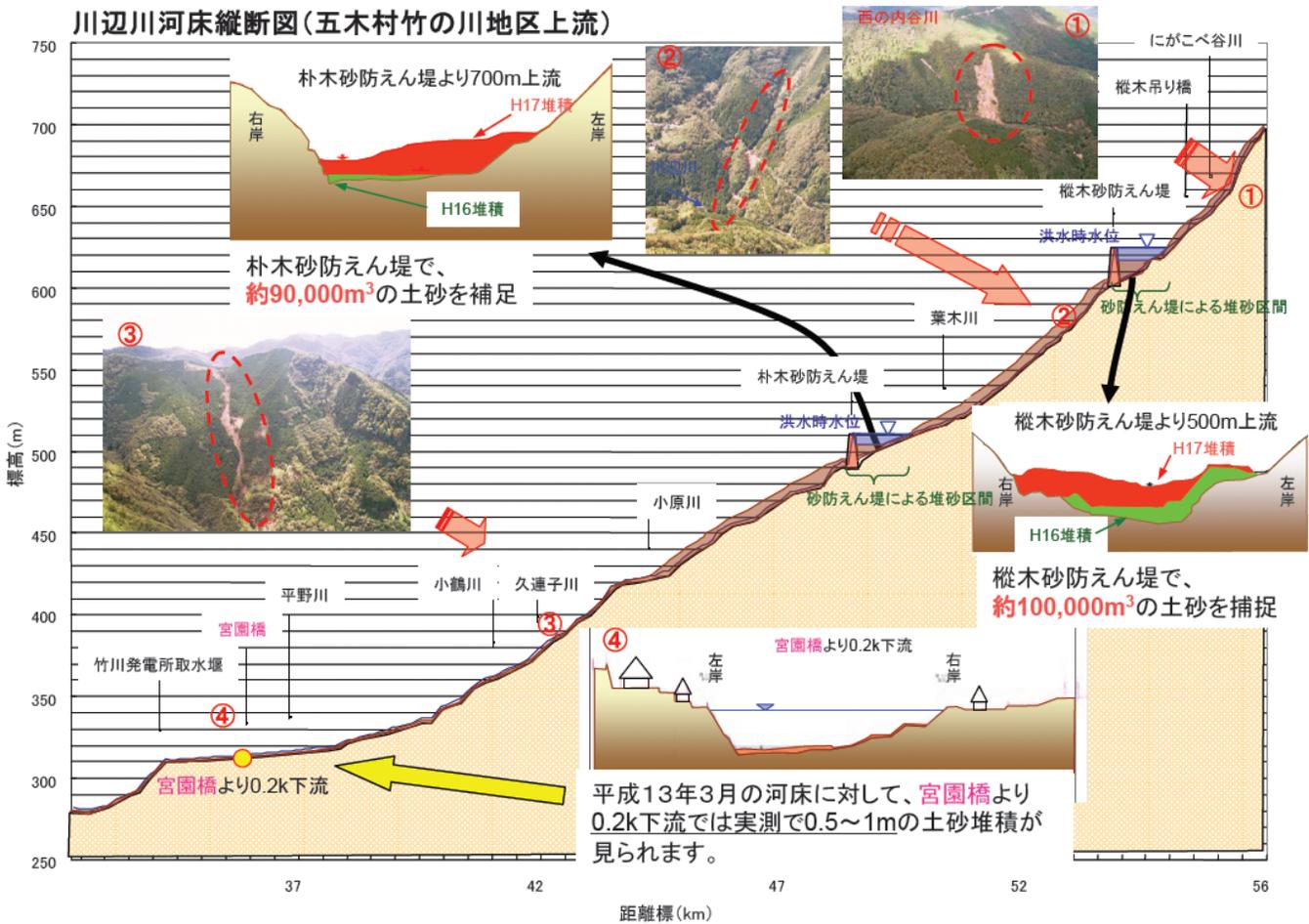


道路冠水により  
交通止め

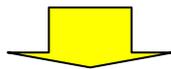
河床への堆砂が大きい



# 川辺川河床縦断図(五木村竹の川地区上流)



◎平成13年度測量・平成17年台風後の測量の比較  
 ・五木村宮園地区付近で0.5m~1m程度の河床上昇



平成17年台風14号時に上流の朴木砂防えん堤、縦木砂防えん堤が無いと仮定すると、五木村宮園地区のさらなる河床上昇が考えられ、浸水被害等が拡大していたものと考えられます。